



TITLE:

快晴に恵まれ盛會だつた京星會"天文の夕"

AUTHOR(S):

CITATION:

快晴に恵まれ盛會だつた京星會"天文の夕". 天界 1936, 17(188): 83-84

ISSUE DATE:

1936-11-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/167368>

RIGHT:

★ ★ ★ 快晴に恵まれ盛會だつた

——— 京 星 會 “天 文 の タ” ★ ★ ★

創立來2年餘、組織整備と會員増加により京都の天文同好者團體として鞏固な存在となつた京星會が一般民衆への天文知識普及を目的に計畫した“天文のタ”は、快晴續きの10月24日(土)、京都市の中央部二條公園に於て盛大に催された。先の日食觀望會に續いて京星會第2回の街頭進出である。會員には「天界」回報によつて發表され、一般へは大阪朝日、大阪毎日、京都日日、京都日出諸新聞に記事が掲載され、當日は17時30分未だ準備の完了せない内から參觀者あり、夜の更けると共に次第に人員を増し、青年團數ヶ團の團體參觀もあり、最盛の頃には200名の人が集まり、御多忙中御參會下さつた山本一清博士の有益な興味深い講話もあつて、22時30分閉會までに數へられた參觀者は700名に達し、京都市に於ける天文關係事業として全く未曾有の盛況であつた。土海愛山氏によつて數枚の寫眞が撮影され、翌朝の新聞には寫眞入りでこの催の報道がなされた。當夜のスケールは次の通りであつた。

鏡第1部 天體觀望

第1號機10種反射(岩崎房治)。第2號機10種反射(坂井 弘)。第3號機11種反射(高井博典)。第4號機4種屈折(吉岡久男)。第5號機11種反射(吉澤覺文)。第6號機15種反射(山田竹男)を公園廣場に配列し、金星、木星、ペルセ二重星團、白鳥二重星、土星、アンドロメダ星雲、プレアデス星團、月、其他の觀望を行ふ。使用機械は全部會員所有のもので山田15種機は本年9月全自作完成されたもの。委員がガイドしながら觀望天體の解説を行つた。21時より坂井委員により月の撮影がなされ觀衆に公開、天體寫眞の撮影に就て解説がなされた。

擔當委員：岩崎、上田、前田、佃、坂井、正木、北村、吉澤、山田、池田。

第2部 參考圖寫眞陳列

公園内休憩所を使用。四面に次の通り陳列 A部 太陽系(太陽系軌道 遊星の解説圖及び太陽、月、遊星の彗星、流星等の寫眞)。B部 恒星系(天球、星

座、星の解説図及び銀河、星雲、星團、二重星等の寫眞) **C部 日食** (日食解説圖及び6月19日の日食寫眞、シベリヤ、滿洲、北海道の各觀測隊、機械の寫眞)、**D部 天文臺、機械** (歐米諸國の天文臺及び望遠鏡、花山天文臺、時計、

京 星 會 天 體 觀 望 會



10月24日(土)於二條公園
(京都・土海愛山氏撮影)

天文學者等の寫眞) 其他 (星圖、雜誌等)、天文解説プリントを配布する。参考圖及び寫眞は花山天文臺及び協會大阪支部より提供されたものに當會に於て製作したものを加へ約100枚、日食關係寫眞は大阪朝日新聞蒐輯のものである。天文解説プリントは京星會規則書と共に700枚印刷され當夜全部出盡してしまつた。

擔當委員：吉岡、泉谷、柴田、田中、北村。

第3部 天文解説

天文講話、恒星界太陽系望遠鏡其他天文解説、天文一般に關

する質疑應答。花山天文臺公文、高城兩氏は望遠鏡の側で參觀者に觀望中の天體の解説をなされ、又休憩所では陳列寫眞を示しつつ解り易く説明を行はれ、折柄、山本一清博士の來場あり、一場の講話を賜つた。又、宇野、高井委員によつて觀衆に星座解説から日週運動、年週運動等の初等天文解説が行はれた。

感謝 この催を開くに際し理解と御援助を戴きました花山天文臺、東亞天文協會、同大阪支部、各新聞社に深甚の謝意を表し、御多忙中御來會を賜り御講話下さいました山本一清博士及び長時間に涉りよく觀衆を教育下さいました公文、高城兩氏に厚く御禮を申上げ、準備及び當夜の進行に御盡力下さつた委員諸氏にこゝに改めて敬意を表する次第であります。